

令和8年度三重県立看護大学特別選抜の基礎学力検査科目「数学」における条件設定の不備について

1 内容

(1) 経緯

令和7年11月15日に実施した令和8年度特別選抜の基礎学力検査科目「数学」の問題解釈等について学外から質問があり、大学で改めて点検を行ったところ、問題文の条件設定について、出題者の意図が正しく伝わらず、受験生に誤解を与える可能性があるとして判断しました。この結果を踏まえ、公平性を確保する観点から当該問題を全員正解として採点を行いました。

なお、合否発表の結果に影響はありません。

(2) 条件設定不備の内容

【該当箇所】 数学 問2 (1) の手順 (iii) ※以下、問題文全文

問2 次の(1), (2)の問いに答えなさい。答えは解答欄に解答のみを記入しなさい。

(1) 一般に、男子の出生率のほうが、女子の出生率を上回ることが知られている。この主張が正しいことは、以下の(i)～(iv)の手順で行う手法で示される。

(i) 判断の基準となる確率(有意水準)を0.05と決めておき、0.05より小さい確率をもつ事象は、ほとんど起こりえないものとする。

(ii) 「男子と女子の出生率が同じである」という帰無仮説を H_0 とし、「男子の出生率が、女子の出生率を上回る」という対立仮説を H_1 とする。

(iii) H_0 が正しいとき、 n 年間続けて男子と女子の出生率が同じという事象が起こる確率を P_n とする。

(iv) P_n が、有意水準0.05より小さければ、ほとんど起こりえない事象が起こったことになり、そもそも H_0 が正しくなかったと考え、 H_0 を否定して(棄却)、 H_1 を正しいと判断する。

① 上の手法を何というか。また、確率 P_n を n の式で表せ。

② (略)

③ H_0 を棄却できる最小の正の整数 n の値を求めよ。

(2) 略

【設問の取扱い】

問2 (1)のうち、①の後半(確率式を求める設問)および③について解答するにあたり、(iii)の条件設定では出題者の意図が正しく伝わらず、受験生に誤解を与える可能性があり、解答の導出に影響があると判断し、公平性を確保する観点から全員正解として採点を行いました。

2 本件発生の原因

入試問題の作成においては、作問の意図や想定解法を踏まえ、複数回の検討会と点検担当者による点検を行っています。

これに加え、令和7年度一般選抜前期日程の「外国語」における表記誤りを受け、各段階でのチェックを一層徹底するとともに、試験当日においてもチェックを行いました。

しかしながら、結果として、該当問題に関する改めての点検を実施するまで気づくことができませんでした。

3 再発防止策

各段階における確認の一層の徹底はもとより、問題の内容について正答が導き出せるか、想定解法以外の解答方法が存在しないかなど、多角的な視点での点検を実施します。また、点検時のポイントについてチェックシートを作成し、点検作業を標準化することで、確認漏れの防止に努めます。